

はばたき

2015 冬号 第36号[通巻第147号]
平成27年1月発行[季刊]

編集・発行 / 佐世保中央病院 佐世保市大和町15番地(広報委員会)
TEL 0956-33-7151 FAX 0956-33-8557 E-mail sch@hakujujikai.or.jp
社会医療法人財団 白十字会ホームページ <http://www.hakujujikai.or.jp>

はばたき第36号 ● もくじ

表紙: 年頭挨拶

- ① 年頭挨拶(理事長)
- ② 年頭挨拶(病院長)
- ③④⑤ 南館竣工と本館の改修工事について・南館のご案内
- ⑥ 大動脈瘤に関する市民公開講座を開催しました
- ⑦⑧ 院内での携帯電話・スマートフォン・タブレット端末などの使用について
- ⑨ クリーンウォーキングを行いました
- ⑨ 最新医療機器紹介
- ⑩ 職種別資格紹介
- ⑪ 病院のお仕事紹介
- ⑫ 患者さんからのご意見箱
- ⑬ 外来診療担当表



年頭挨拶
(関連記事は①②ページ)

基本理念

患者さんが一日も早く社会に復帰されることを願います。

基本方針

- 1. 患者さんの権利を尊重し、患者さん中心の快適な療養環境を提供いたします。
- 1. 地域医療機関との連携に努め、市民のニーズに合った診療活動を展開することにより、社会に貢献できる病院を作ります。
- 1. 職員の総和をもって、納得の医療を推進し、患者さんから信頼され、愛される病院を作ります。
- 1. 最新の医学情報と医療設備を導入し、日進月歩の医学に正面から取り組みます。
- 1. 病院人として社会人として、信頼される人格をもった責任ある人間を育成いたします。
- 1. すべての職員にとって、かけがえのない価値ある職場であるよう努力いたします。

医療を受ける人の権利と義務

- 1. いかなる差別もなく公平な医療を受けることができる。(受療権)
- 2. 自身の病状・診断・予後・治療などについて、納得できる説明を受けることができる。(知る権利)
- 3. 医療者の提案する診療計画を自らの意思で決定することができる。(自己決定権)
- 4. 個人情報やプライバシーを保護される権利がある。(プライバシー保護権)
- 5. 他施設の医師に相談することができる。(セカンドオピニオン権)
- 6. 医療者に対し、自身の健康・病状に関する情報を正確に伝える義務がある。(情報提供義務)
- 7. 病院業務に支障をきたさないよう協力する義務がある。(診療協力義務)



2015年理事長年頭挨拶

佐世保中央病院 理事長 富永 雅也



皆様、明けましておめでとうございます。健やかに新年をお迎えになったことと思います。

佐世保中央病院は昨年、念願の南棟が完成し、療養環境の改善の目的で現在も改修工事が続いています。6月には10年ぶりに整形外科が復活しました。社会医療法人として、救命救急、そしてそれに続く急性期医療において目覚ましい活躍を続けてきた一年でした。

最近、国は余りにも急激な医療費の増大に対処するため、慢性病の増悪・進行・防止に寄与した医療機関を評価する方向に舵を切り始めました。当法人では、既に10年前から、糖尿病センターで医師・療養指導士が中心となり栄養看護外来を開始して参りました。その成果は素晴らしく、血糖値は良好にコントロールされ、糖尿病性壊疽によって足を失う患者さんは激減しました。リウマチセンターや心臓血管外科の“でかける医療”により県北や一部佐賀県を巻き込んだ広域診療圏で、病気の早期診断、早期治療、年間スケジュールに基づいた患者さんの密な連携・管理が行えるようになり、目覚ましい成果を挙げています。まさに地域の医療を支援する病院の姿です。法人挙げて取り組んでいる「食べられる口を作るプロジェクト」は嚥下機能の改善、誤嚥性肺炎の重症化防止に大きく寄与しています。佐世保市も我々の活動を評価し、無駄な医療費を使わないため、在宅復帰後も口プロの維持のため保健師さんを中心に街ぐるみの活動を展開する予定です。午後の外来を利用した看護外来は、自分の病気を理解し、病気と闘う術を会得できると、患者さんより高い評価を得ています。これら時代に先駆けた白十字会の取り組みは、市民から支持され、愛され、評価されていくことでしょう。

この病院多難の時代、救急から高度急性期医療そして在宅復帰まで市民の期待に添い遂げ、さらに病気の増悪予防にて身体を壊さない医療を推進・展開できる我々白十字会の成長を、私はその一員として誇りに思います。

さて、今年は礎病院長の2年目です。繊細なお心配りをされながらも、ぐいぐい引っ張っていかれる力強い病院長を、みんなで支え、ベクトルを合わせ、さらに素晴らしい中央病院にして参りましょう。

皆様にとって、素晴らしい一年となるよう祈っています。今年もよろしくお願いたします。



2015年病院長年頭あいさつ

佐世保中央病院 病院長 碓 秀樹



新年明けましておめでとうございます。

日頃、佐世保中央病院に対する皆様のご理解、ご支援に対し心から御礼申し上げます。

今年もどうぞよろしくお願いいたします。

一昨年からの増改築では皆様には大変ご迷惑をおかけしております。

今回の増改築の主な目的は、

- (1)救急外来の整備・拡張：年々増加する重症救急患者(2014年：約5,100人、救急車2,200台)に対し、よりスムーズな受け入れ、治療が可能となるよう大幅な整備と器具の導入。
- (2)外来の整備・拡張：整形外科(2014年6月から2名体制で就勤)など医師増などに伴い、手狭になった各科診察室、説明室、採血コーナーなどの整備・拡張。
- (3)病棟機能の拡大：2病棟新たに増築(2014年7月から運用中)し、これまでの6病棟(1病棟約60床)から8病棟(1病棟約43床)とし、さらに旧病棟を順次改築し病棟でのリハビリや、今後ますます増えてくる認知症の患者さんの憩いの部屋とし活用予定です。

2015年6月には全ての増改築が終了し、新しい中央病院として再スタートを切ることになります。もうしばらくご迷惑をおかけしますが、どうぞご容赦くださいますようお願いいたします。

さて佐世保中央病院は、地域における急性期病院として主に、①救急医療 ②がん治療 ③各種専門医療 ④在宅医療(地域医療連携の推進)⑤予防医学 に力を注いでまいりました。今後は国の指針で各病院、診療所、施設の役割分担がさらに明瞭化されてまいります。

“皆様各自が、日頃から信頼できる地域の診療所や病院の先生をホームドクター(かかりつけ医)とし、特殊な検査や治療が必要な際または救急時には、急性期病院にご紹介いただく。急性期病院では、最新の医療設備と技術で、検査や治療に当たり自宅退院を目指す。直接自宅への退院が困難な際は、慢性期の病院・施設(回復期病棟、地域包括病棟など)でのリハビリなどの治療を経て自宅退院を目指す。”

今後急性期病院に、入院できる日数の制限が次第に厳しくなっております。佐世保中央病院を含む白十字会では、「患者さんが一日も早く社会に復帰されることを願います」という基本理念のもと、急性期から回復期(耀光リハビリテーション病院)、介護・福祉(ドリームケア通所介護、介護老人保健施設：長寿苑、サン)、在宅(訪問看護ステーション、訪問介護、訪問入浴など)に至るまで、法人全体で患者さんの在宅復帰を目指していきたく思います。

佐世保中央病院は、今後もさらに地域の先生方との連携を強化し、急性期病院として質の高い、優しい医療を提供できるように、そして患者さん、ご家族から心からの“ありがとう。”の一言がいただけるよう全職員一丸となって努力していきたく思います。今後も変わらないご支援をお願いいたします。

2015年が皆様にとりまして、素晴らしい一年となりますようお祈り申し上げます。

南館の竣工と本館の改修工事について

このたびの南館増築・本館改修工事につきましては、外来診療機能の拡充ならびに入院の療養環境改善を目的に行われております。

外来部門においては、当院が地域において重要な役割と認識している救急患者受け入れ機能を更に高めるための救急外来の拡充をはじめ、手狭になった各外来診療科の拡充を行っています。

病棟部門におきましては、救急患者の受け入れや高度急性期医療に対応するため、ICUの拡張工事やHCU【《highcareunit》高度治療室。ICU(集中治療室)と一般病棟の中間に位置する病棟で、ICUよりもやや重篤度の低い患者を受け入れる】ならびにSCU【《stroke care unit》脳卒中集中治療室】を設置し、また初期の治療段階でもすぐに病棟でリハビリが開始できるよう、各階にリハビリ室を新設しました。また、昨今増加傾向にある、ご高齢で認知症をともなう患者さんを見守るためのスペースを確保するなど、現在の患者さんの状況に対応できるよう医療提供体制を整え、病院機能の向上を目指し実施しているものでございます。

工事は本年6月末に完了する予定です。工事期間中は何かとご迷惑をおかけしますが、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

南館のご案内

■ 建物概要

鉄筋コンクリート造5階建 (延床面積 6971.14㎡)

■ フLOOR別機能

5F

- 講義室(約200名収容:1室)
- 会議室(約50名収容:2室)
- 会議室(約20名収容:4室)

4F

- 4階南病棟(39床:脳神経外科・神経内科)
- OSCU

3F

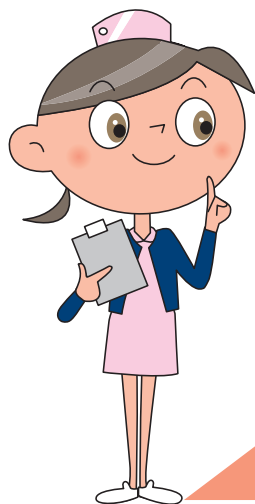
- 3階南病棟(41床:整形外科)

2F

- 医局
- 医局秘書課・医師事務作業補助室
- 診療情報管理課

1F

- リウマチ・膠原病センター、糖尿病センター
- 外来診察室等(内科・耳鼻咽喉科・皮膚科)
- 看護外来
- 化学療法室・点滴室
- 感染症外来専用スペース
- 売店



5階



講義室

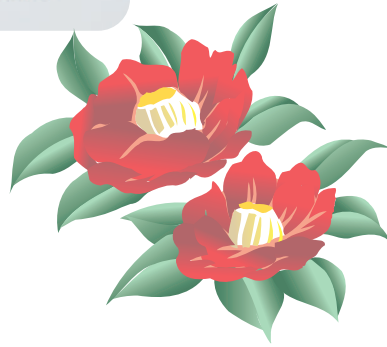


会議室(1~2)



会議室(3~6)

4階・3階



1床室(シャワーブース)



1床室



1床室



HCU



特浴室



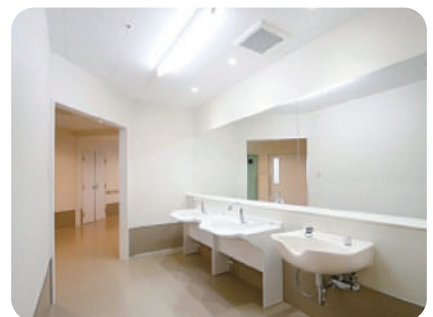
病棟面会室



スタッフステーション(内部)



スタッフステーション(外部)



洗面所

2階

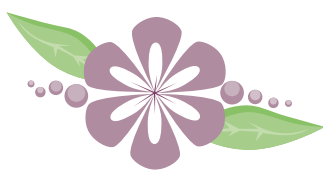


医局カンファレンス室



医局

1階



1階リウマチ膠原病センター(入口)



1階リウマチ膠原病センター(待合い)



化学療法室



看護外来



耳鼻科・皮膚科



内科



点滴室



エレベーターホール



感染症外来受付



多目的トイレ

大動脈瘤に関する 市民公開講座を開催しました



佐世保中央病院 心臓血管外科 副部長 谷口真一郎

長崎がんばらば国体で賑わいを見せ始めた10月11日、大動脈瘤に関する市民公開講座をアルカスSASEBO中ホールにて開催しました。

昨年8月に下肢静脈瘤の最先端治療であるレーザー焼灼術について市民公開講座を開催しましたが、参加者アンケートで要望が高かった大動脈瘤を今回のメインテーマとし、長崎県北地域では初の試みとなりました。心臓血管外科を標榜する医療機関は県北医療圏では少なく、市民の皆さんにまずは病気について知っていただくことが地域医療支援病院である佐世保中央病院の重要な使命と考え、県内外から約100名の市民の方々にご参加いただきました。

公開講座のタイトルは、『大動脈瘤を知り、大動脈瘤に克て！』。長崎大学病院放射線科・坂本一郎准教授が『大動脈瘤治療の最前線ー体にやさしいステントグラフト治療ー』、小生が『佐世保中央病院における大動脈治療』と題して講演を行いました。

大動脈瘤は自覚症状があまりなく、破裂に至る前に偶然に発見されることがほとんどですが、症状が出現した際には破裂の危険性が高く致命的となるため、サイレントキラーとも呼ばれる大変怖い病気です。

大動脈瘤の治療は、内服薬や注射薬では完治できず、外科治療が基本となります。元来、大動脈瘤の外科治療は開胸や開腹手術による人工血管置換術が根治的手術として確立され広く行われていますが、ご高齢の方には負担も大きく、少なからず合併症の危険性もはらんでいます。ステントグラフト内挿術は、カテーテルを用いた血管内治療であり、わずか数cmの創部で行う体に負担の少ない最先端の治療です。

当院では平成21年より長崎大学病院と共同で行っており、胸部大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術では県北医療圏で唯一の実施基準施設です。

まずは検査で大動脈瘤を早期発見し、発見された場合も放置しないことが重要です。

当院では、毎週火曜日午後到大動脈瘤専門外来を開設していますので、お気軽にお問い合わせください。



病院内での携帯電話・スマートフォン・タブレット端末などの使用につきましては、以下のルールやマナーの順守をお願いいたします。



皆様へのお願い(使用の前提)

- ① 病院内では常にマナーモードをお願いいたします。また歩きながらの利用や操作は危険ですのでお控えください。
- ② 院内各所に通話推奨エリアを設けておりますので可能な限りそちらをご利用ください。
- ③ 病棟消灯後の使用については、療養環境維持のためお控えください。またやむを得ず使用する場合は、周囲に特段のご配慮をお願いいたします。
- ④ いずれの場合も医用電気機器から1メートル程度の遠隔距離を確保してください。
- ⑤ ICU、HCU、SCU、手術室、血管造影室、MR検査室への持ち込みは禁止です。やむを得ず持ち込む際は、必ず電源をお切りください。MR検査室においては更衣室まで持ち込み可能です。

通話についてのお願い

- ⑥ 待合、廊下、売店などでの通話は周囲の方のご迷惑にならないよう、できるだけ周囲の方を避けた場所(通話推奨エリアなど)で、必要最小限にてお願いいたします。
- ⑦ 診察室内においての通話は禁止です。
- ⑧ 4人床などの病室内においては、部屋内での通話は禁止です。また人工透析センターにおいても同様に通話は禁止です。ご使用は、テイルームなど通話推奨エリアでのご使用をお願いいたします。
- ⑨ 個室の病室内は通話を含む使用が可能です。上記③消灯後の使用は禁止です。

その他の機能使用についてのお願い

- ⑩ 音声を発する機能(テレビや動画視聴、ゲームなど)を使用する際は、音漏れ等にご配慮の上、ヘッドホン、イヤホンをご使用ください。
- ⑪ メール送受信やWEB閲覧、アプリの使用など、音声を伴わない機能については原則使用可能です。
- ⑫ カメラ、ビデオ撮影、録音機能につきましては病院内の患者さんのプライバシー保護上、使用をお控えください。

病院内は公共の空間です。体調のすぐれない方が多数いらっしゃいます。ルールやマナーを守って適正な使用をお願いいたします。

病院内での携帯電話・スマートフォンなどの使用可能範囲のお知らせ

※電源を入れている場合は必ずマナーモードをお願いします。

場 所	通 話	メール WEB閲覧 アプリ使用	電 源	留意点・その他
待合・廊下・ 食堂・売店・ 階段など	○	○	○	歩きながらの使用は禁止です。 通話推奨エリアでの使用をお願いします。 通話の際は声の大きさ等、周囲への配慮をお願いします。
4床室などの 病室・人工 透析センター	×	○	○	音漏れや、通知音などにご注意ください。 病室消灯後はご使用をお控えください。 通話はデイルームなどをご利用ください。
個室の病室	○	○	○	医療機器との距離は1メートル程度確保してください。 消灯後はご使用をお控えください。
診察室・ 生理超音波室・ 採血コーナー・ 放射線検査室 (血管造影・MR除く)	×	×	○	医療機器との距離は1メートル程度確保してください。
ICU・HCU・ SCU・手術室・ 血管造影室・ MR検査室	×	×	×	やむを得ず持ち込む場合は電源をお切り下さい。

病院内は公共の空間です。体調のすぐれない方が多数おられます。ルールやマナーを守って適正な使用をお願い致します。

平成26年10月1日より施行

クリーンウォーキングを開催しました

11月8日、佐世保中央病院周辺の清掃活動とウォーキングを兼ねたクリーンウォーキングを開催し、約80名の職員とその家族が参加しました。この催しは健康増進と日頃からお世話になっている地域への恩返しを目的に行っているもので、今年で6回目の開催となります。参加者は3つのコースに分かれ、道端に落ちている空き缶やペットボトル等のゴミを拾いながら最長で4.4kmのウォーキングを行いました。子どもたちが一生懸命に手を伸ばしてゴミを拾おうとする姿に他の参加者も奮起されました。今後も様々な形で社会貢献活動を継続していきたいと思います。



最新医療機器紹介

バイポーラRFAシステム Celon POWER 消化器内視鏡センター 医長 加茂泰広

わが国で小型肝癌に対する治療としてラジオ波焼灼療法(RFA)が行えるようになったのは1999年です。再発を繰り返す肝癌に対してはできるだけ1回の治療ごとの侵襲を少なくしたいとの臨床的ニーズから、ラジオ波治療は爆発的な広がりを見せ、現在では多くの施設で手術よりもラジオ波治療の件数の方が多いという統計となっています。

現在までのラジオ波焼灼用機器はモノポーラ型で、「針一本」を肝癌に刺入し、下肢に貼った対極板との間に電流を流して肝臓癌を壊死に陥らせるものです。今回導入されたラジオ波機器は初めてのバイポーラ型で、肝癌に刺入する針の先端で絶縁部を挟んで2個の電極が配置されており、1本の針を刺すだけで電流を流して腫瘍を壊死させることができます。バイポーラ方式の採用により、対極板が不要となり、対極板付近での皮膚のやけどの心配が無くなるとともに、予期せぬ周囲臓器の損傷などのリスクが低減されます。さらに複数(2、3本)の針による同時焼灼も可能になり、治療時間の短縮と広範囲の同時凝固が期待できるようになりました。これにより、肝臓癌治療における患者様の負担軽減に貢献します。



職種別資格紹介 [放射線技術部]

放射線技術部は、放射線関連検査および治療に携わっている診療放射線技師を中心とした部門です。診断価値の高い画像情報を提供できるよう、各種専門・認定資格を有する診療放射線技師が多数在籍しています。今回は2つの資格について紹介します。

磁気共鳴専門技術者(MR 専門技術者) 資格取得者 次長 馬場 隆治

MR 専門技術者は、MR 診療に関わり以下の知識・技能が必要です。

- (1)MR 装置の精度管理ならびに被検者および立入り者の安全管理ができること。
- (2)解剖学的、臨床医学的基礎知識を有すること。
- (3)装置性能を最高度に発揮させ、目的を達成するための技術を有すること。
- (4)地域活性化のために教育・指導ができること。

つまり、検査の目的や主治医の要求(患者様の症状を的確に情報として提供する。または異常なしと定義できる。)に応えることができるような、知識と技術を持ち、最新情報に遅滞することなく常にレベルの向上を目指している者をMR 専門認定技術者として認定しています。

マンモグラフィ認定技師 資格取得者 横田かおり・伊藤英美・木村有希

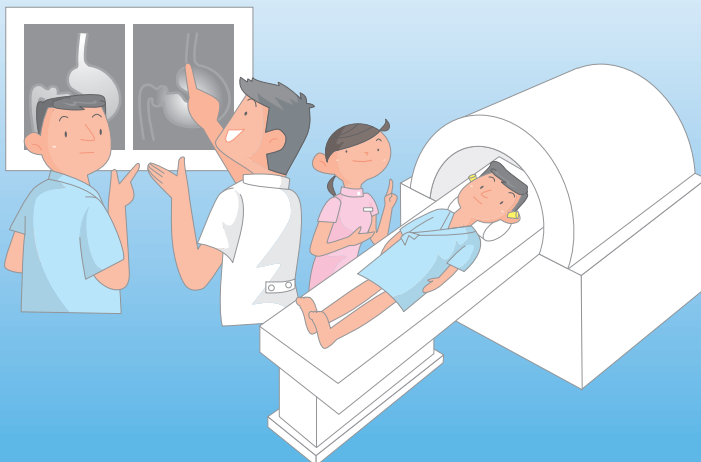
診療放射線技師がマンモグラフィ検診精度管理中央委員会(精中機構)において行われる講習・試験を受け、マンモグラフィ撮影に関して一定基準以上の知識・技術があると認められた診療放射線技師に与えられる認定証明です。

マンモグラフィ検診精度管理中央委員会は診療放射線技師がマンモグラフィの効果を発揮するために必要とされる、高い撮影技術と読影力を教育・研修し、マンモグラフィに従事するスタッフのスキルを一定レベルに保つことが必要との考えのもと、発足されています。試験を受けるには、マンモグラフィ検診精度管理中央委員会主催または共催の講習会を受講する必要があり、試験評価AもしくはBの方に与えられます。

この認定資格は、撮影機器に関する理解度を高め、患者さんの被ばくを極力抑えた高画質のマンモグラフィを撮影できる技師という証明といえるものです。試験内容については、筆記試験と40症例の読影試験があり、マンモグラフィに必要な知識と技術がある技師だけが認定されます。

その他の各種専門・認定資格

放射線取扱主任1種	3名
放射線管理士	3名
放射線機器管理士	4名
医用画像情報精度管理士	2名
胃がん検診専門技師	3名



○健康増進センターの役割

当健康増進センターは、佐世保中央病院に併設された健診施設で、「受診者の健康を支援し、活力のある地域社会の実現に貢献する」ことを基本理念に、人間ドックや健康診断、保健指導等を通して、地域および職域の皆様の健康の維持・増進をサポートする部署です。様々な職種で構成されており、医師4名、保健師6名、看護師4名、臨床検査技師1名、事務員8名、アテンダントエスコート5名からなります。また人間ドックの施設および機能の客観評価として、すでに日本人間ドック学会機能評価認定を取得しております。常に受診者視点で、質およびサービスの向上に取り組んでいきたいと考えています。

○施設認定・指定

人間ドック学会健診施設機能評価(Ver.2)認定施設
マンモグラフィ検診画像認定施設
健康保険組合連合会指定健診施設
全国健康保険協会管掌健診指定施設



○施設の特徴

健診専用の独立した施設



当センターは、健診専用の施設です。オープンフロアのゆったりとした雰囲気をご利用いただけます。

レディース健診専用フロア



女性受診者の方のために、婦人科、乳がん健診は、専用のレディース専用フロアをご用意し、安心して受診いただけるようになっております。

専門スタッフによる健康支援



健診結果に基づき、専門医や保健師、各種専門指導士により、受診者のライフスタイルを考えた保健指導、健康支援を行っています。

フォローアップ体制



検査の結果により、精密検査や、通院・入院が必要になった場合は、佐世保中央病院や連携医療機関による全面的なバックアップ体制が整っています。

○人間ドック・健康診断に関するご予約・お問い合わせについて

人間ドック・健康診断をご希望の方は、**完全予約制**になっておりますので、健康増進センター窓口にお越しいただくか、お電話でのご予約をお願いいたします。

○お問い合わせ時間…………… 月～金曜日 9:00～12:00 13:00～16:00

○休診日…………… 土・日曜日、祝日 8月14日～15日(夏季) 12月30日～1月3日(年末年始)

【健康増進センター直通】電話番号 (0956)33-5335 FAX番号(0956)33-5336

メールアドレス sch-kenkoh@hakujuyujikai.or.jp ※ただし、メールでのお申込は受け付けておりません。

● 患者さんの声～ご意見箱より～

貴重なご意見
ありがとうございます



「ICUの看護師の私語がひどい」とのご指摘について

「看護師のおしゃべりがひどいとおもいました。仕事の話では無いような感じです。患者にしてみればうるさいと思います。がっかりです。」というご意見をいただきお詫び申し上げます。

業務中の私語は当然慎むべきものであり、患者さんにとってはICUという特殊な環境下であり、看護師は相応の配慮をすべきところ、ご指摘のような状況であったこと大変不愉快な思いをされたことと存じます。今後このような事が無いよう、指導強化に努めてまいります。

なお、今後万が一、同様なことがございましたら、看護課長や主任に一声お掛けいただければ、直接その場での注意・指導もいたしますので、遠慮なくお声掛け下さい。

看護部長 横山 藤美

「トイレトーパー置き場」に関するご意見について

「トイレトーパーの予備が便器の真横にあり、しかも近くて汚くなりそうな感じがする。このトイレトーパーを使いたくない。」とのご意見をいただきました。

ご指摘は、本館のトイレ個室についてと推察いたします。増築した南館のトイレ個室においては、予備のトイレトーパーを高い位置の扉付の棚に収納しており、ご指摘のようなことが無いようにいたしております。頂いたご意見をもとに、今後、既存の本館についても、不快感を与えないよう、新築した南館と同様の仕様を検討して参ります。

貴重なご意見、ありがとうございました。

施設管理本部 室長 石橋 薫

「夜勤の看護師が少ないのでは？」とのご指摘について

「夜勤の看護師さんの人数が少ないと感じる。昼間は多数いるがもつと夜の時間に人数を割いたらどうか？」というご意見をいただきました。

当院は、国の基準で定める「7対1看護」（入院患者7人に看護師1人）という最も手厚い看護体制をとっております。具体的には40床の病棟であれば8時間ずつの勤務人数で1日の勤務者数を算出すると、18人となります。検査や治療・ケアが提供される日勤帯の勤務者数が14～15名、夜勤帯に3～4名の配置となります。これは、夜間の配置人員としては十分に基準を満たすものです。

しかしながら日によっては重症患者さんが多い時もあり、ご意見にあるように、少ないと感じられることもあるかもしれません。患者さんの状況に応じて応援体制や時間差勤務行っております。さらに、看護が行き届かないことがないように努めたいと思います。今後も、お気づきの点などがございましたら、お気軽に病棟看護師までお知らせください。

看護部長 横山 藤美

外来診療担当表

全診療科予約制

平成27年 1月1日現在		月		火		水		木		金		
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	
内科	呼吸器	小林		副島		副島 (新患・紹介のみ)		小林				
	内分泌							安部(非)(再)	大財(非)	藤山(非)		
	骨代謝										藤山(非)	
	腎・透析		森(篤)						森(篤)	林(非・再)	林(非・再)	
	神経内科	竹尾(再)		竹尾(再)		竹尾		中村(非)		竹尾(再)		
	リウマチ 膠原病 センター	新患			岩本・一瀬 (長崎大学担当医)		植木				荒牧	
		再来	植木		岩本	岩本	福田	寺田	荒牧		寺田	
糖尿病 センター	新患	森(良)				二里		二里		松本		
	再来	松本(-)・二里		松本(-)・二里		森(良)・松本		松本(-)・森(良)		森(良)・二里		
循環器科	新患	木崎		矢野(非)		中尾(功)		木崎		矢野(非)		
	再来	赤司		中尾(功)・本田(矢野(非))		木崎・赤司		中尾(功)		木崎・矢野(非)		
消化器科	(消化管)	加茂		松崎	富永(再)・竹島(非・隔週)	小田	磯本(非・隔週)	小田		松本(耕)		
	(肝胆膵)	草場		木下		松崎		加茂		木下・松本		
人工透析センター		森(篤)・林	森(篤)・林	森(篤)	森(篤)	森(篤)・林	森(篤)・林	森(篤)	森(篤)	森(篤)・林	森(篤)・林	
外科	新患	梶原・重政	※	草場	※	碓	※	重政	※	佐々木・高村	※	
	再来	碓				菅村(非)		濱田		碓		
	特別顧問外来	國崎		菅村(非)		梶原						
整形外科(新患・紹介のみ)		北原		宮原		北原		宮原		北原(第1,3,5週) 宮原(第2,4週)		
脳神経外科		阪元	※	※	※	阪元	※	※	※	阪元	※	
心臓血管外科		竹本		竹本		竹本		竹本		竹本		
皮膚科		山口	※	山口	※	山口	※	山口	※	山口	※	
小児科		山田	循環器外来 (第1,第3,第5週)	山田	乳幼児健診・予防接種	山田		山田	アレルギー外来 (山田) (第4週休診)	山田	乳幼児健診	
		犬塚	心身症外来 (第2,第4週)	犬塚	神経外来 (第1週休診)	犬塚	心身症外来	犬塚	神経外来	犬塚	生活習慣病外来 (隔週)	
泌尿器科	新患	徳永	※		※	徳永			※	徳永	※	
	再診	南		徳永		南	南(前立腺)	徳永		南		
眼科				上松(非)								
耳鼻咽喉科		大里	※	大里	※	大里	大里	大里	※	大里	※	
		*						*				
放射線科		平尾	平尾	平尾	平尾	平尾	平尾	平尾	平尾	平尾	平尾	
放射線治療計画		堀上・末吉	堀上・末吉	堀上・末吉	堀上・末吉	堀上・末吉	堀上・末吉	堀上・末吉	堀上・末吉	堀上・末吉	堀上・末吉	
救急総合 診療部	内科系	本田・永松	二里	森(良)	担当医	加茂	松本(耕)	赤司・本田	荒牧	福田	小林	
	外科系	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	
メモリークリニック(もの忘れ外来)		井手		井手		井手		井手			井手(再)	
専門外来		インターフェロン(新患・紹介のみ) 木下 14:00~16:00 ペースメーカー 木崎・中尾(再) 第2・第4月曜日14:00~16:00 乳腺 佐々木 第2・第4月曜日14:00~17:00		ストーマ 重政 第2火曜日 14:00~16:00 禁煙 菅村 第2・4火曜日 13:30~15:30 ステントグラフト外来 谷口 13:00~14:00 睡眠 近藤 隔週13:00~16:00		乳腺 碓 14:00~17:00		CAPD 林和(4週1度再診)14:00~15:00 下肢静脈瘤 柴田 14:00~15:00		乳腺 佐々木 13:30~16:30		
緩和医療		國崎(非)				國崎(非)						
健康増進センター		寺園・本多 田中・橋迫 (交互隔週)		寺園・本多		寺園		中尾		中尾		
乳がん検診		佐々木		野々下		本多・板倉		寺園・本多・板倉		寺園		
健診婦人科(特別顧問外来)		石丸	石丸	石丸	石丸	石丸	石丸	石丸	石丸	石丸	石丸	

※医師の出張等により、休診する場合がございます。受診ご希望の方は予約をお願いいたします。

受付時間 8:30~11:30 / 13:30~16:30

(専門外来・紹介のみ)

診察時間 9:00~12:00 / 14:00~17:00

(専門外来・紹介のみ)

土曜日は、休日診療体制とさせていただきます。

☆:救急部24時間体制 * :当番医 (非):非常勤 (再):再診
※:主に手術・検査の予定ですが、予定が無い場合は診察いたしますのでご確認ください。

すべての診療科において時間帯予約制をとっております。受診を希望される場合は、コールセンターへ事前にご連絡いただき予約をお取り下さい。

受付時間 月~金曜日 8:30~17:30

予約専用電話番号 0800-7000-888 (通話料無料)

医療機関からの紹介状をお持ちの方は TEL/FAX 0120-33-8293 地域医療連携センターまでお願い致します。(土曜日の8:30~12:30も受付けております)